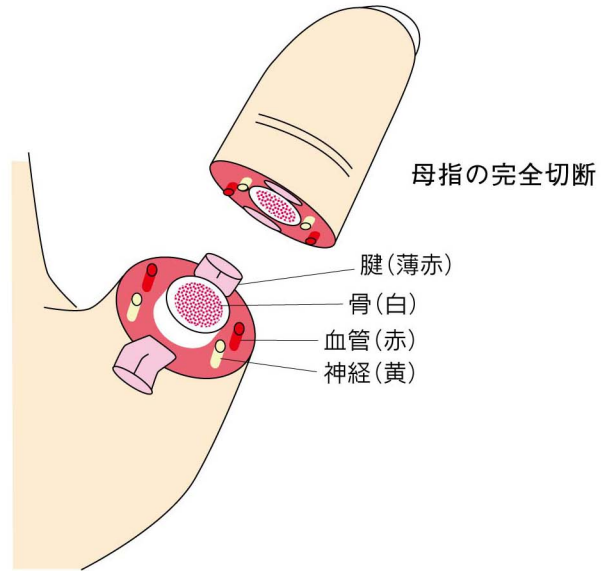


14

せつ だん し
切断指

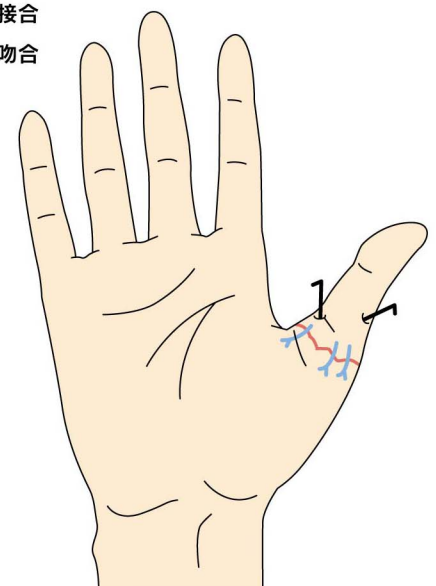
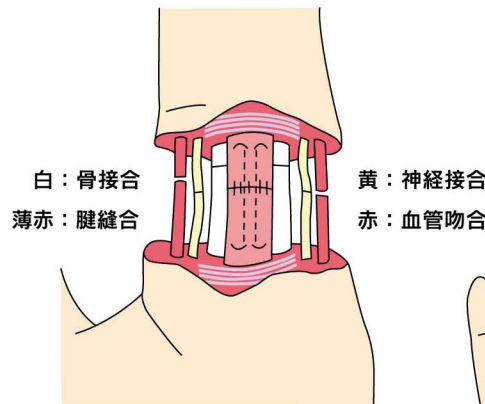
● 原因と症状 ●

切断指とは、指を電動のこぎりや除雪機などの刃により切断される外傷です。プレス機などに指を挟め、引き抜いた際に切断される場合もあります。切断指では、骨や腱、神経、血管などのすべての組織が断裂します。指が体から完全に離れた場合を「完全切断」、皮膚などの一部の組織のみでつながっている場合を「不全切断」と言います。どちらの切断でも、早急に血行を再開させなければ指は壊死してしまいます。



● 治療 ●

できるだけ早く血行を再開する必要があります。治療は手術しかありません。このような手術を再接着術といいます。再接着術では、骨接合と腱縫合、手術用顕微鏡を用いた血管・神経縫合を行います。ただし、切断端が汚染されていたり、切断指が引きちぎられたり、つぶされたりした場合には、再接着術ができない場合があります。



● 後療法 ●

1. 腫れの予防

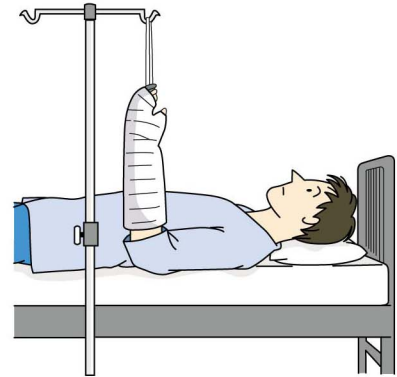
- ・ガーゼと包帯でふわっとした創閉鎖
- ・患肢の挙上

2. 血栓(血管のつまり)の予防

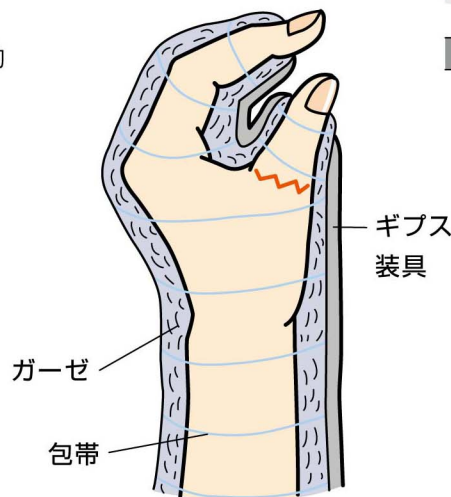
- ・保温
- ・抗凝固剤(血液さらさら)の使用
- ・喫煙の禁止

3. リハビリ

- ・リハビリの先生による指関節の運動
- ・自力での指関節の運動



患肢の挙上



● 予後 ●

予後(治療の結果)は、切断のされかたや部位によって異なりますが、再接着術をしても完全に元通りに戻るわけではありません。

- ・切断部位に近い関節では、動きが悪くなる場合があります。
- ・指の感覚障害や寒冷不耐性(寒い環境での痛みやしびれ)が残ることがあります。
- ・症状により、追加の手術が必要になることがあります。